



で生まれ育った“おいしい”を提案する企業です。

広島県 福山市

なかやま牧場

会社案内



太陽と緑と倅せと…

株式会社 **なかやま牧場**



社 是

誠 実

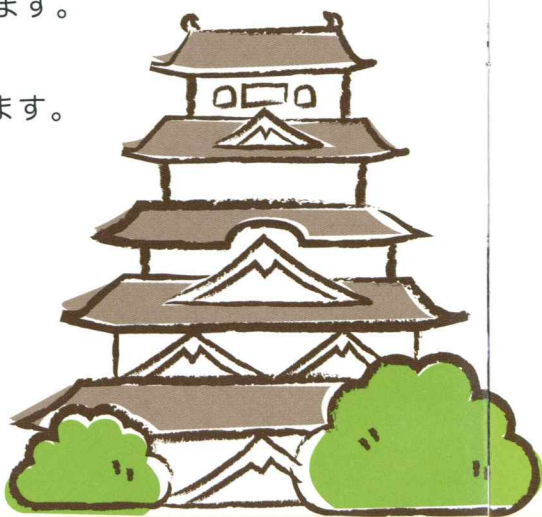
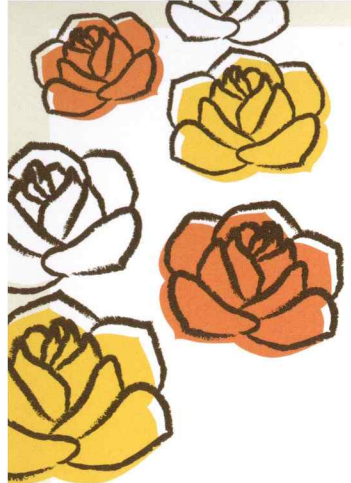
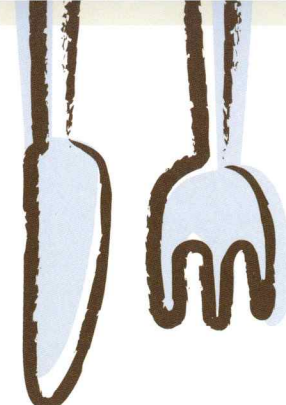
商売は常に信用第一である。
 その信用は、うそいつわりがない誠実さと、
 他人に尽くす誠実さによる、企業態度から発生する。
 誠実は最強の商法でもある。

経営理念

地域社会に貢献する
 社員と生産者の幸せを願う
 お客様、取引先の信頼を得る

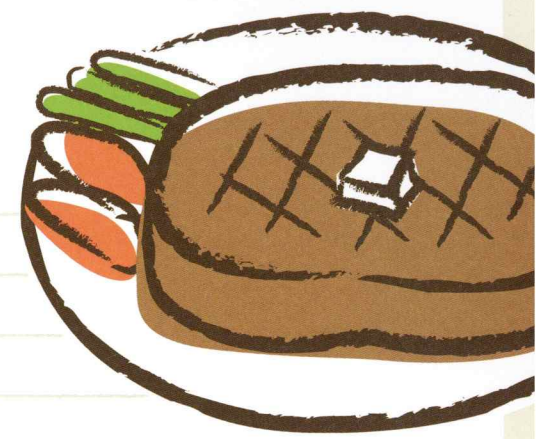
経営方針

- 生産、流通、販売の一貫経営により、経営の安定と利益の追求を続けます。
- お客様へ真心を込めた商品、サービスで感動を提供します。
- 安心、安全、高品質(鮮度・おいしさ)な商品を提供し続けます。
- 希望と誇りとやりがいの持てる会社を目指します。
- 地域に愛され、関係先と共に成長し続ける会社を目指します。
- 環境への配慮やコンプライアンスを常に心がけます。

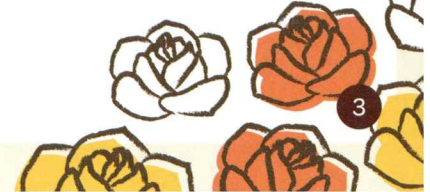
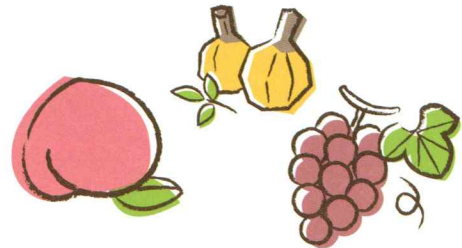
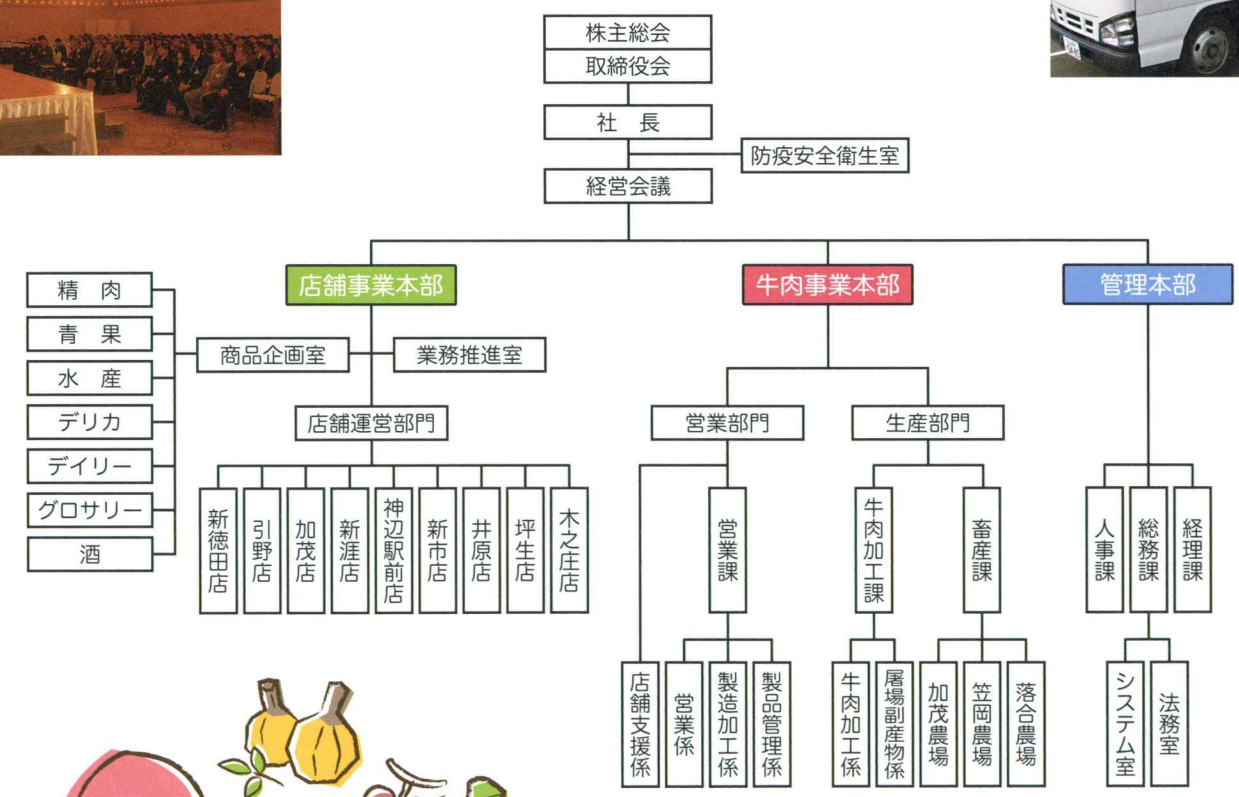


会社概要

会社名	株式会社なかやま牧場		
設立	昭和45年11月		
資本金	5,000万円		
創業者	名誉会長 中山伯男		
代表者	代表取締役 増成幸子		
社員数	612名(正社員316名、パートナー社員296名) ※平成28年10月現在		
事業内容	肉牛の肥育、食肉加工、総合食品スーパーの経営		
本社所在地	〒720-2413 広島県福山市駅家町法成寺1575-16		
直営牧場	株式会社なかやま牧場 加茂農場	広島県福山市加茂町北山4369-1	
	笠岡農場	岡山県笠岡市カプト中央町191	
	落合農場	岡山県真庭市日野上4373	
直営スーパー	新徳田店 引野店 加茂店 新涯店 神辺駅前店		
	新市店 井原店 坪生店 木之庄店		

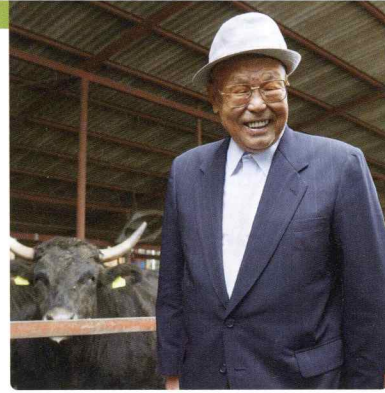


組織図



なかやま牧場の歩み

半世紀におよぶその歴史は、若いひとりの牛飼いから始まりました。「ひとりでも多くの人にお腹いっぱいおいしい牛肉を食べてもらいたい。」この想いを胸に、牛の肥育から加工・販売・流通の仕組みまで、すべてを自分たちの手で行う独自の一貫体制を日本でいち早く実現。そして、商品とサービスへの「責任と誇り」を示すため、社名に自身の名前をつけました。その牛飼いは「中山伯男」といいます。



なかやま牧場創業者／現・名誉会長
中山伯男

- 1960 和牛の肥育開始
- 1965 乳用雄子牛(ホルスタイン)の肥育に着手 写真①
- 1967 加茂町柴目地区において省力肥育を開始
- 1969 生産から販売までの一貫体制を導入
牛肉直売店を開始 写真②
- 1970 個人経営から会社経営に組織変更 株式会社中山畜産とする
- 1971 全国農業コンクール 農林大臣賞 受賞
- 1972 繁殖・肥育一貫経営に着手
肥育牛100頭、繁殖牛10頭、(預託30戸、750頭)
- 1973 神辺町徳田に食肉加工場開設 写真③
- 1975 食品総合市場キョーエー 開店
- 1976 (農)中山畜産農場を設立
- 1978 福山市引野町福山青果市場前に引野店開店



- 1984 福山市加茂町に加茂店 開店
- 1988 福山市御幸町に中山畜産本部移転
- 1989 神辺町新徳田店の食肉加工場跡地に
ハート新徳田店 開店 写真④
- 1991 ハート引野店 新築移転
- 1992 ハート加茂店 増床
- 1994 加茂社員寮(家族・独身寮)新築 写真⑤
- 1995 株式会社なかやま牧場に社名変更 写真⑥
- 1997 ハート新涯店 開店
- 2001 ハート引野店 増床
ハート神辺駅前店 開店
ハート新徳田店 増床及びリニューアル

地域の皆様とともに
歩んできた
半世紀だったモオ～



なかやま牧場 公式キャラクター モ～ちゃん

- 2002 福山市駅家町に本社移転 写真⑦
「なかやま牛」商標登録取得 ★
- 2003 「なかやま牛」の定義を策定 ★
- 2004 ハート新市店 ハート東福山店 開店
牛肉の生産情報をお客様に公表する 写真⑧
- 2006 株式会社落合牧場 設立
- 2007 農事組合法人中山畜産農場を
株式会社中山畜産農場に組織変更
- 2010 おかげさまで設立40周年
- 2011 福山市神辺町に神辺社員寮(独身、家族)新築
- 2014 ハート井原店 開店 写真⑨
- 2015 ハート坪生店 開店 写真⑩
- 2016 福山市と災害時応援協定を締結 ★
第二回 福山ブランド認定 ★
グループ会社の組織再編

株式会社中山畜産農場、有限会社カサオカ畜産及び株式会社落合牧場の肥育事業を株式会社なかやま牧場へ、採草事業を株式会社ファーム中山(株式会社中山畜産農場より商号変更)へ組織変更。
- 2017 ハート木之庄店 開店
- 2020 皆様とともに“設立50周年”



★
厳しい基準を定めました
商標登録と
なかやま牛の定義

「なかやま牛」を商標登録(2002年)。その後、エサの配合割合や肥育期間など厳しい基準を設けて、これをクリアした牛だけをなかやま牛と呼べるよう「なかやま牛の定義」を策定。なかやま牧場で愛情とこだわりを持って育てられた牛以外をなかやま牛と呼ぶことはできません。



★
地域の皆様にも愛される精肉
福山ブランドに
認定されました

「市民に愛される精肉を目指す」というなかやま牛の商品コンセプトが評価をされて、福山市都市ブランド戦略推進協議会が認定する「福山ブランド」に選ばれました。なかやま牛は、地元の福山はもとより広島県外でも、高い評価をいただいています。



★
地元企業として
福山市
災害時応援協定

近年、各地で多発する異常気象や地震など、いっどこで発生するか予測が困難とされる大規模災害に備えて、なかやま牧場は福山市と災害協定を締結しました。災害時には「避難所などへの食料品、飲料品の優先的な供給」に努めて市民の皆様への暮らしを応援していきます。

なかやま牧場をひとつに

結ぶ 3つのこころ

牛肉事業本部

生産部門

なかやま牛の一貫体制の源流を担う生産部門では、安定した品質の牛を育てるため、福山市内に1カ所、岡山県にも2カ所の直営農場を運営しています。牛の肥育においては「牛も人と同じ生き物である」をモットーに、健康な牛を育てるために農場で働くスタッフは全員で「わが子を育てるがごとく、命ある生き物の世話をする」という責任感を持って働いています。生き物を相手とする仕事は、地道で根気のいるものですが、これこそが牛飼いかから



合言葉は「牛の気持ちを理解しよう！」

スタートした中山伯男がもっとも大切にしてきた「こころ」です。こうした農場の仕事を受けて、本社に併設された加工センターでは流通形態にあわせたカット・パッキング作業を行っています。ここでの仕事は、まず牛の品種ごとに異なる特性を理解し、作業上の鮮度・衛生管理を徹底することが重要です。当社の加工センターは、各作業行程に大きな枝肉を横断的に移動させるレールフックを日本の民間企業で初めて採用。運搬時の事故のリスクを減らし、人が極力触れずに済むこと

で商品の温度が上がるのを防ぎ、衛生面の予防対策の面でもメリットがあります。先進の設備と熟練したスタッフの加工技術によって、安全かつ迅速、そして高品質な商品づくりを実現しています。

営業部門

生産部門が愛情とこだわりをもって仕上げたなかやま牛を、卸会社、メーカー、量販店、生協などに販売しています。単に「売れたらいい」という気持ちで取引をするのではなく、会社の看板商品である「なかやま牛の良さ」をしっかりと理解していただくことを念頭に、仕事に取り組んでいます。

また、自社ブランド商品を企画・商品化する業務も手がけるなど、多様化する現代の食シーンを見据え、なかやま牛をお客様に親しみやすい商品規格に落とし込んで、市場へアプローチしていきます。

管理本部

管理本部

なかやま牧場全体の仕事を統括的に管理・運営しています。人事課では、新入社員の採用・研修など雇用全般に関する業務を行っています。部内にカウンセラー有資格者が在籍するなど、みんなが「こころ」から安心して働けるように努めています。総務課では、会社経営における法的手続きや、コンピュータでの情報処理、ホームページの運営などを行っています。経理課では、運営資金の管理業務から経営分析まで、会社の数字に関する面を担っています。

会社を築く“人財”の育成から組織を形成する“ルールづくり”まで幅広い業務を担当。



西日本トップクラスの肥育頭数を誇る当社最大規模の加茂農場(福山市)

徹底した品質管理で安心、安全な商品づくり。



店舗事業本部

店舗運営部門

なかやま牛の直売所として誕生した直営店は、生鮮・青果・日配・惣菜・日用品などを扱う総合食品スーパー「ハート」として、現在、福山市内に8店舗と岡山県井原市に1店舗を構えています。特になかやま牛の対面販売コーナーでは、自社牧場を有するなかやま牧場だからこそできる「豊富な品揃えとリーズナブルな価格」で、地域のお客様に長年にわたり好評

をいただいています。「ハート」の名前の由来は、「こころ」のこもった接客サービスで「地域で必要とされる

スーパーでありたい」という願いから。笑顔のある接客、正確なレジオペレーション、品出しや商品陳列などが主な仕事です。各店とも店長を中心に、楽しいイベントやお得な企画などを「消費者目線」で行い、ご来店くださったお客様をおもてなしています。



牛肉のスペシャリストがいる。

業務推進室

店舗運営の予算管理、売上、収支計算などの事務全般を行っています。チラシ広

告の発行や店内の装飾などでは、ハートの取り組みをお客様にわかりやすくお伝えすることを第一に考えています。社内とお客様の両方を見据えながらハートの運営をトータル的にバックアップしていきます。

商品企画室

ハートには商品カテゴリーごとに専任のバイヤーがおり、ご来店くださるお客様にいつも魅力的な商品を提供できるよう「仕入れやフェアの企画」を行っています。地域密着のスーパーを目指して、地元の農家さんやメーカーさんとの取り組みを積極的に行う一方、全国から珍しい商品を手当てしたり、季節ごとのイベントにあわせた仕入れにも力を入れています。「地元ならではの魅力」とお買い物が楽しくなる「多彩な品揃え」を両立しながら、「いつ来ても見どころいっぱい!」とお客様に言っていただける売場づくりを目指しています。



こころの通ったコミュニケーション。

生産から管理、直営スーパーまで。私たちはこれからも皆様に「おいしい!」を提案していきます!



なかやま牧場の六次産業

なかやま牧場の創業者・中山伯男は牛が好きで、わずか3頭から牛飼いを始め、その後、全国でも初めてとなる乳用種の雄牛の多頭飼育を始めました。牛肉を「おなかいっぱい食べてもらいたい」との想いで多頭飼育したものの、牛肉が消費者に届くころには高くなっていました。このジレンマからの脱出は当時の流通を改革する必要がありました。出荷から小売りまでの流通のもどかしさを疑問に思い、自ら加工した牛肉を直売店で販売し始めました。業界では類を見ず、当時、「生産から販売までの一貫経営」と呼ばれていたものは、今でいう『六次産業化』のこと。新しい流通はお客様には喜ばれたものの、小売業界には嫌われました。しかしながら常に「なぜだろう」、「だったらこうしてみたらどうだろう」のチャレンジ精神の持ち主であった創業者は、厳しい経営環境の中、関係者の温かい支援もあって、並々ならぬ意欲と闘志で乗り切り、経営規模は農場で9,000頭を超え、加工場では25頭/日の処理を行い、店舗は9店舗にまでに成長しました。

お陰さまで「なかやま牛はおいしい」と沢山のお客様に喜んでいただき、これからも永続できる企業へと深化するべく、多くの方々の知恵と教えとご協力により改善を繰り返してまいりました。そして今、地域社会に貢献する企業としての事業基盤は、柔軟に且つ力強く整いつつあります。一次×二次×三次産業のなかやま牧場の六次産業は、経営幹部の情熱×社員の生真面目さ×お客様・取引先様・関係者様の支えで成り立っています。“自分のみが良くなるのではなく、多数の人々が喜び、共に前進する”=『忘己利他』の創業者の精神は今も引き継がれています。

これからは、一次・二次・三次それぞれの枠を超え、お客様に喜んでいただけることを続けていくために、一つになって盤石な経営体質に作り上げていくことが、今までかかわってきた人々への恩返しであり、さらなる応援をして下さる方々に対する使命と考えます。これからも皆さまとともに…。

株式会社なかやま牧場 代表取締役 増成幸子



本社所在地 〒720-2413
広島県福山市駅家町法成寺1575-16
電話 084-970-2941
FAX 084-970-2432

ホームページでも情報公開中!

なかやま牧場 検索



<http://www.nakayama-farm.jp/>